

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【公表番号】特表2012-508501(P2012-508501A)

【公表日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2011-535522(P2011-535522)

【国際特許分類】

H 04 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 4 2 3

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月7日(2012.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線通信システム端末の不連続受信制御方法において、

Long DRX Cycleが使用されたか否か又はShort DRX Cycleが使用されたか否かを判断する段階と、

Short DRX Cycleが使用されたと判断した場合、下記式1を満足するサブフレームでオンデュレーションタイマーを開始する段階とを含む方法。

[式1]

$$[(\text{System Frame Number (SFN)} * 10) + \text{subframe number}] \bmod (\text{Short DRX Cycle}) = (\text{DRX Start Offset}) \bmod (\text{Short DRX Cycle})$$

【請求項2】

シグナリングを通じてDRXパラメータを受信する段階を更に含み、

前記DRXパラメータは、DRX start offset、Long DRX Cycle、Short DRX Cycle、オンデュレーションタイマーを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記シグナリングは、RRCシグナリングを含むことを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記判断する段階において、

Long DRX Cycleが使用されたと判断した場合、下記式2を満足するサブフレームで前記オンデュレーションタイマーを開始する段階を含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

[式2]

$$[(\text{SFN} * 10) + \text{subframe number}] \bmod (\text{Long DRX Cycle}) = \text{DRX start offset}$$

【請求項5】

前記判断する段階は、

一定時間基地局から資源割り当てがない場合、前記Long DRX Cycleが使

用されたと判断し、そうでなければ前記 Short DRX Cycleが使用されたと判断することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記オンデュレーションタイマーの進行中に制御チャネルの制御情報を監視する段階を更に含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

無線通信システム端末の不連続受信制御装置において、

Long DRX Cycleが使用されたか否か又はShort DRX Cycleが使用されたか否かを判断し、Short DRX Cycleが使用されたと判断した場合、下記式1を満足するサブフレームでオンデュレーションタイマーを開始するように制御するDRX制御部を含むことを特徴とする装置。

[式式 1]

$$[(\text{System Frame Number (SFN)} * 10) + \text{sub frame number}] \bmod (\text{Short DRX Cycle}) = (\text{DRX Start Offset}) \bmod (\text{Short DRX Cycle})$$

【請求項 8】

シグナリングを通じてDRXパラメーターを受信する受信部を更に含み、

前記DRXパラメーターは、DRX start offset、Long DRX Cycle、Short DRX Cycle、オンデュレーションタイマーを含むことを特徴とする請求項7に記載の装置。

【請求項 9】

前記シグナリングは、RRCシグナリングを含むことを特徴とする請求項8に記載の装置。

【請求項 10】

前記DRX制御部は、

前記判断時にLong DRX Cycleが使用されたと判断した場合、下記式2を満足するサブフレームで前記オンデュレーションタイマーを開始するように制御することを特徴とする請求項7に記載の装置。

[式式 2]

$$[(\text{SFN} * 10) + \text{sub frame number}] \bmod (\text{Long DRX Cycle}) = \text{DRX start offset}$$

【請求項 11】

前記DRX制御部は、

前記判断時に一定時間基地局から資源割り当てがない場合、前記Long DRX Cycleが使用されたと判断し、そうでなければ前記Short DRX Cycleが使用されたと判断することを特徴とする請求項7に記載の装置。

【請求項 12】

前記DRX制御部は、

前記オンデュレーションタイマーの進行中に制御チャネルの制御情報を監視するように制御することを特徴とする請求項7に記載の装置。